

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

透明度は4.9~7.1mでした。

検鏡の結果、魚類に対して有害なシュードシャットネラ・ベルクローサが最高で2cells/ml、ミリオネクタ・ルブラが最高で20cells/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高で13cells/ml確認されました。

珪藻類の少ない状態が続いており、今後天候が回復したときに有害種が増殖する可能性があります。

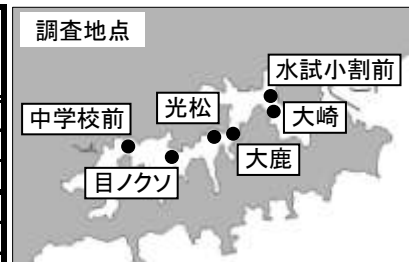
海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
透明度	4.9	5.5	5.1	5.4	7.1
前回透明度	3.8	5.1	4.8	4.2	6.5

プランクトン(cells/ml)

		シュードシャットネラ・ベルクローサ	ミリオネクタ・ルブラ	ヘテロシグマ・アカシオ	ジャイロディニウム属	珪藻類
中学校前	0m	0	0	0	6	0
	2m	0	2	0	20	10
	5m	0	0	0	24	0
目ノクソ	0m	0	0	0	1	0
	2m	0	9	0	11	20
	5m	2	0	0	4	350
光松	0m	0	4	0	4	0
	2m	0	20	0	4	20
	5m	0	2	0	5	10
大鹿	0m	0	1	0	0	100
	2m	0	15	0	1	0
	5m	1	1	0	2	0
水試小割前	0m	0	1	0	1	0
	2m	0	4	13	1	150
	5m	0	2	1	0	20



漁業被害が想定される細胞密度

- ・シュードシャットネラ・ベルクローサ:
500~1,000cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ミリオネクタ・ルブラ:
10cells/ml(貝類の赤変化)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)